

産婦人科・泌尿生殖器科

婦人科

病棟 東病棟 6F、7F / 西病棟 6F / 西病棟 3F (CCU)

外来 外来診療棟C 1F 連絡先 022-717-7745 (婦人科外来)

ホームページ <http://www.ob-gy.med.tohoku.ac.jp/>



科長
島田 宗昭 特命教授

主な対象疾患

- 子宮頸がん ●子宮体がん ●卵巣がん ●外陰がん ●骨盤内腫瘍 ●月経異常 ●性分化異常、習慣性流産 ●不妊症 ●子宮内膜症
- 子宮筋腫 ●子宮脱

診療内容

三次医療機関として重症の患者さんの管理にあたり、先進医療や高度精密検査法の施行・開発を行い、より安全で確実な医療に貢献すべく邁進しております。希少疾患、難治症例、重症例に対する対応はもちろん、通常の婦人科疾患についても他科との連携が必要な合併症を有する症例を中心に対応しております。悪性腫瘍を中心とした手術を年間約500件扱っております。

腫瘍分野

年間200例以上の悪性腫瘍に対して世界標準治療を導入した治療実績に加え、機能温存を重視しかつ十分な制がん効果を有する治療の展開に取り組んでいます。主な取り組みを下記に記します。

1. 子宮頸がんの妊孕能を温存する広汎子宮頸部摘出術
2. 子宮頸がん、子宮体がんに対するセンチネルリンパ節生検を利用した系統的リンパ節郭清の省略によるリンパ浮腫軽減、リンパ節転移検出感度の向上
3. 早期子宮頸がん、早期子宮体がんに対するロボット支援手術を含む腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術
4. 治験、医師主導型臨床試験の実施による新規治療開発

生殖分野

一般不妊から高度生殖補助技術まで多岐にわたり取り組んでいます。また、鏡視下手術(腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術、卵管鏡下卵管形成術)にも積極的に取り組んでおります。宮城県がん・生殖医療ネットワークにおいても中心的な役割を担い、若年がん患者さんの迅速なカウンセリングや妊孕性温存治療を行う体制を確保しております。また、院内にみやぎ・せんだい不妊・不育相談センターを設置し、行政と連携して地域の患者さんが気軽に悩みを相談できる環境の整備にも取り組んでいます。

女性漢方分野

更年期障害や月経前症候群などに見られる、“(いわゆる)不定愁訴・多愁訴”に対して心身共に治療できることが漢方薬の得意領域です。最近ではエビデンスも構築されつつあり、西洋医学と統合的に治療する機会も増えています。なお当分野は、腫瘍、生殖、周産期の各分野とも連携し、

標準治療の副作用に対する支持療法も行っています。その結果、患者さんの生活の質向上にも貢献しております。

内分泌分野

思春期月経異常・月経随伴症状、性分化疾患、性同一性障害を対象としております。性機能やこころの問題に関わる病態にも、他科と連携しながら治療を行える診療体制をとっています。また、子宮奇形、造腔術などに対しての積極的治療も行っております。

その他

当科の診療および東北大学産科学・婦人科学教室についてのさらに詳しい情報につきましては当科ホームページを是非ご覧ください。

診療体制

腫瘍外来、リプロ(生殖)外来、女性健康外来、女性漢方外来、内分泌外来、セカンドオピニオン外来を設置しております。

婦人科腫瘍専門医、生殖医療専門医、臨床遺伝専門医、女性ヘルスケア専門医、内視鏡技術認定医、東洋医学会認定医などが中心になり、最新の専門的な医療を提供しています。

得意分野

それぞれの専門分野でのスペシャリストを配し、婦人科腫瘍、生殖・内分泌、女性ヘルスケア、女性漢方の最新治療を行っています。それぞれの分野で患者さんの希望となるような試験的な治療にも積極的に取り組んでいます。良性疾患を含め、婦人科領域の診療をすべて網羅できるよう心がけておりますので、ご不明な点があればお気軽にお問い合わせください。

ご紹介いただく際の留意事項

- 緊急性が考慮される症例の場合は、必ずご紹介前に当科外来にご一報ください。